

【担当教員名】 梶原洋生	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

本講義では、社会保障の総論的な内容を習得し、その理解を深める。ここでは社会保障制度において国家が中心となる制度設計の仕組みを正確に理解するために、制度の柱となる視点、沿革、原則などを知り、その全般的な機能と課題を捉える。この中で、理念と理念の拮抗や理念と現実との乖離を探る。その探求を生かしながら、我が国の財政状況や国際的な現況などを学習する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 社会保障の制度設計を理解する。
2. 社会保障の歴史と沿革を理解する。
3. 社会保障の方法的視点を身につける。
4. 社会保障の現況について把握する。
5. 社会保障に関する分析から理論構成を行なう。
6. それらを通じて、福祉職に必要な事柄をさらに整理して理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	「社会保障論Ⅰ」の取り組み（受講上の留意点）		講義
2	社会保障とは何か		講義
3	社会保障の歴史的発展と方法的視点		講義
4	社会保障理念の発達とその沿革		講義
5	社会保障の概念提起と論題		講義
6	社会保障の範囲と原則		講義
7	社会保障財政とそのあり方		講義
8	社会保障の企図（全般的な機能）		講義
9	現代社会における社会保障の姿		講義
10	社会保障制度の国際動向（1）		講義
11	社会保障制度の国際動向（2）		講義
12	我が国の近時の動向（1）－政策の潮流		講義
13	我が国の近時の動向（2）－医療福祉連携の中で		講義
14	国民的な期待とは（まとめ）－専門職への期待など		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	『はじめての社会保障』、棕野美智子・田中耕太郎、有斐閣アルマ、最新版			
参考書	『新版 医療と福祉の法律学』、梶原洋生、インデックス出版、2002 その他、適宜紹介する。			
その他の資料	『介護の法律入門』、梶原洋生、インデックス出版、2006 その他、適宜紹介する。			

【評価方法】 出席点、平常点、試験点による。	【履修上の留意点】
---------------------------	-----------